

平成30年6月20日

## 国・県・市が連携して特定外来種の駆除を実施しました。

松本砂防事務所では、信濃川水系高瀬川の支川箆川で“日向山床固工群”の砂防事業を進めています。本事業は高瀬川流域への土砂流出防止及び河床の安定を図るとともに、流域内の自然環境との調和を図ることから、砂防施設には魚道の設置や自然石の玉石を張るなど、きめ細やかな対応を行いながら工事を進めています。

しかし、現場周辺には特定外来種に指定されている『オオキンケイギク』が生育しており、既存植生への影響が懸念されることから、毎年、駆除の最適時期である開花前の5月下旬～6月上旬に、長野県大町建設事務所、大町市と松本砂防事務所が連携し、駆除活動を実施してきました。

今年も6月5日、30名の職員により『オオキンケイギク』約150kgを駆除しました。ちなみに今回の駆除量は前年の半分程度であり、確実に駆除作業の効果が効いていると考えられます。

今後も、高瀬川流域の安全・安心を守るべく、砂防事業を推進するとともに、生物の多様性がある自然豊かな中山間地の創出に向けて、特定外来種の駆除活動も続けていきたいと考えています。



日向山下流床固工群



今年完成予定の日向山第1号上流床固工



生育するオオキンケイギク



特定外来種オオキンケイギクの駆除作業



駆除したオオキンケイギク(約150kg)

## 【参考】特定外来種について

国土交通省北陸地方整備局  
松本砂防事務所

### 特定外来種

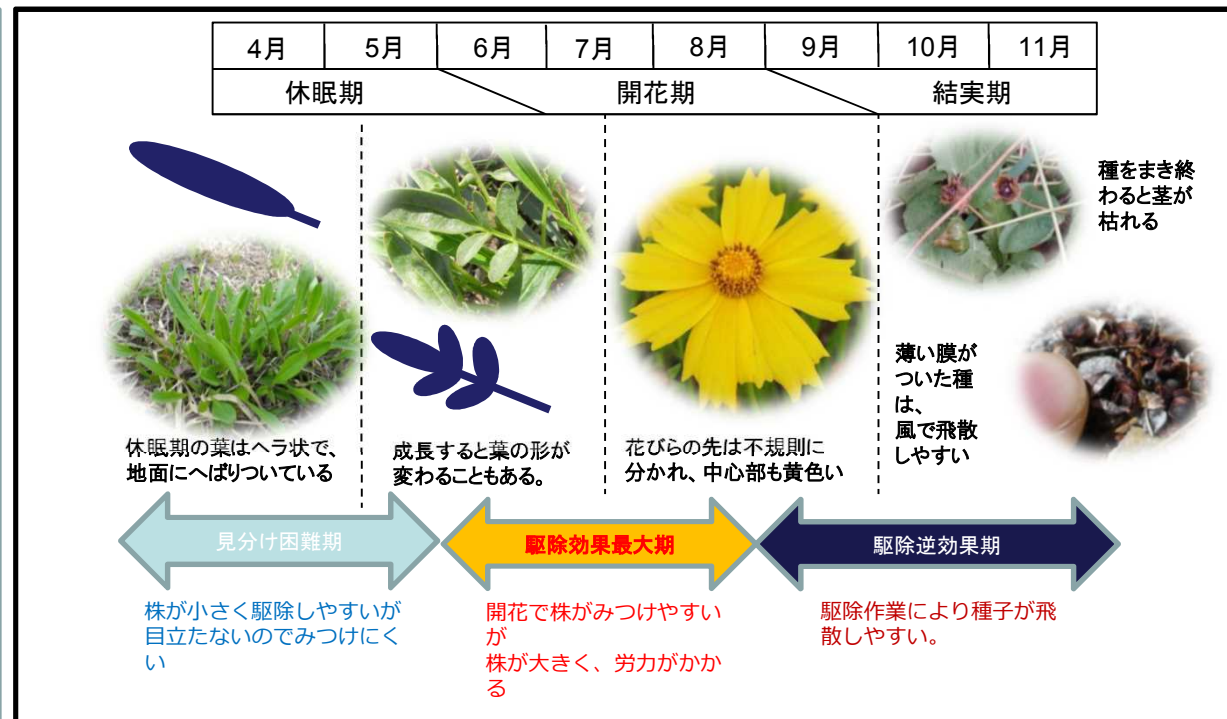
#### オオキンケイギク

北アメリカ原産。キク科の多年生草本。高さは30～70cm程度で、観賞用や緑化用に導入されたものが野生化。

#### 特徴

- ① 多年草なので越冬して翌年も成長し続ける可能性が高い。
- ② 5～7月に直径5～7cmの橙黄色の花を咲かせる。
- ③ 刈り取りに対する再生力が強く、繁殖力が旺盛で強い健康。
- ④ 主に道路、河川敷、線路際などに育成。
- ⑤ 果実は、側面に薄く翼があるのが特徴で風にとばされやすくなっている。

### オオキンケイギクの見分け方



オオキンケイギク確認個体(越冬葉)



### 【参考】特定外来種とは？

もともと地域になかったのに、人間活動によって、他の地域からもちこまれた植物のうち、地域の自然環境に大きな影響を与えたり、農作物に被害を与えたりする植物のことをいいます。法律(※)により「特定外来種(植物)」として指定され、栽培、保管、運搬、譲渡、植える、まくことなどが禁止されています。※特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(平成16年6月2日法律第78号)